

義と社会正義

2009年9月7日 アシェル・イントレーター

最新のニュース

アハヴァット・イエシュア

今週私たちのCongregationで行われた礼拝は栄光で始めることができませんでした。駐車場は封鎖されて止められなくなっていました。最後の最後まで音響システムがうまく作動しませんでした。私たちは事務員を変えたばかりであり、牧師のエディーは街を出て不在でした。

すばらしい霊的雰囲気の中賛美は始まりました。30分ほど経った後、私は証があるかどうか聞いてみました。イダンさんは入院中のローズを訪問したことを証しました。彼はギターでいくつか賛美を演奏したところ、人々、すなわち患者、看護師、病院スタッフや他の訪問者などが参加し始めました。全員が救われていないイスラエル人で、ユダヤ人とアラブ人両方いました。その場で二人が奇跡的に癒やされました。

そしてクリスティナが、エラヴ青年会議での癒しのミニストリーの後について証しました。彼女は道で癒しを祈る準備を整えていました。彼女は路上で3人の若い宗教的なユダヤ人と出会いました。1人は顔に痛みがあり、もう1人は足に痛みがありました。彼女はイエシュアの御名によって祈ったところ、二人とも癒やされました。

イスラエル軍のエリート特殊部隊出身のサムエルは、路上でイスラエル人兵士たちの集団と出会い、彼らに福音を伝えた話をしました。サハルは大学の同僚たちに彼の信仰について証しました。

フレディは即興の賛美コーラスを導き、Congregationはそれに加わりました。他の証がありました。そこには夢、預言、祈り、預言的な絵画の提示があり、アリヤー（訳注：イスラエルに帰還すること）したての新しい夫婦がおり、福音の証がさらにありました。20数名の若いイスラエル人が様々な聖霊の賜物について証しました。

まだイエシュアを信じていない、宗教的ユダヤ教の家系出身の若い男が最近私たちのCongregationに来ています。彼はヘブライ大学で、聖書で学位を取っています。彼は前に出て、自分には「ちょっとした」証があると言いました。

彼は今週のHさんとOさんの結婚式に来ました。彼は宗教的な家庭で育ちましたが、このようなことは一切経験したことがありませんでした。彼は、HさんとOさんが誓いをする時、二人の御使いが翼を広げて結婚式の天蓋(フツパー)を覆ったという幻を見たと言いました。彼は目に見えて震えていました。私は「それは単にちょっとしたことかい？ どうか？」と言いました。

集会が始まって2時間が経ち、連絡事項や献金、そして礼拝の伝統的な師式をせずじまいとなりました。その朝私は主に何について教えるべきかを尋ねました。「あなたは生まれ変わらなければならぬ」という御言葉が聞こえただけでした。私は全員にヨハネ3章をあけるように指示し、生まれ変わるというのはどういう意味なのか、短く、しかし強い言葉で教えました。

最後に私はCongregationに、生まれ変わる必要のある人はいるかと問いかけました。後ろの列に座っていたこの(訳者加:幻を見た証をした)若い男性が前に走り出てきました。彼は栄光によって生まれ変わりました。彼に手を置いた時に多くの預言的な言葉が彼に与えられました。どうかこの親愛なる新しい聖徒を祈りに覚えて下さい。

義と社会正義

聖書の主要なテーマの一つは義です。義の一面として、私たちは罪を悔い改め、正しいことを行うということです。それと並行した義の側面として、私たちはイエシュア(イエス)の贖罪の血潮によって罪が洗われたということです。

これら二つの義の「半分」は最初の「義なる」人であったアベルに見ることができます。彼は神の前にお捧げた血の犠牲によって義とされました。

ヘブル書 11:4「信仰によって、アベルはカインよりもすぐれたいけにえを神にささげ、そのいけにえによって彼が義人であることの証明を得ました。神が、彼のささげ物を良いささげ物だとあかししてくださったからです。」

彼は又、彼の良き行いによって義とされました。

1ヨハネ 3:7「(前略)だれにも惑わされてはいけません。義を行う者は、キリストが正しくあられるのと同じように正しいのです。」

1ヨハネ 3:12「カインは悪い者から出た者で、兄弟を殺しました。なぜ兄弟を殺したのでしょうか。自分の行いは悪く、兄弟の行いは正しかったからです。」

私たちは義の両面を見なければなりません。悔い改めをしない、そして正しい行いをせずに血の贖いを信じることは惑わしであり、神の恵みによる介入抜きに良い行いをしようとするは無価値です。

義にはまた第三の側面があり、それは社会正義です。社会正義は聖書において非常に重要ですが、現代の説教者によって無視されることが多いのです。社会正義は裁判所の判事によって基本的に

決められます。社会正義の基盤となるルールは非常に単純です。つまり、悪事を働く者を罪に定め、無実な者を無罪放免することです。

申命記 25:1「(前略)彼らが裁判に出頭し、正しい方を正しいとし、悪い方を悪いとする判決が下される(後略)。」

悪事を働く者を罪に定め、無実な者を無罪放免するという正義の聖書的原則が非常に単純であるならば、不正に関する聖書的原則も単純です。すなわち、無実な者を罪に定め、悪事を行う者を無罪放免することです。

箴言 17:15「悪者を正しいと認め、正しい者を悪いとする、この二つを、主は忌み嫌う。」

道義的な正義は神の御国の基盤です。ダビデは神によって選ばれて王となりました。それは、彼の信仰や詩篇を書いたことではなく、義によって政治を取り仕切ったことにあります。

Ⅱ サムエル 8:15「ダビデはイスラエルの全部を治め、その民のすべての者に正しいさばきを行った。」

いずれかの側面において間違いは起こります。私たちは犯罪者に対して「軽」すぎることもありますし、悪いことをしていない人々に対して「非難」することもあります。

イスラエルでは現在、5人の主な政府指導者が刑事責任に問われています。オルメルト前首相は告訴されており、リーバーマン現外務大臣は取り調べ中で、カツァブ前大統領は性的虐待で告発されており、二人の閣僚であるベニツリとヒルシュツォルンは今週刑務所に行きました。

ある者は、連邦検察が政治的な理由で告発をでっちあげてこれらの指導者を攻撃し「首狩り」をやっていると断言しているようです。他の者は政府からやっとな汚職が一掃されたと言っているようです。いずれにおいても、汚職によって捕まるという新しい「恐れ」がイスラエルの政治体制を通して確かに広がっています。